

盛岡市 市議会議員

ちばじゅん子

市政レポート
vol.3
2026 May



住みたい・住み続けたい「もりおか」をつくりたい

いつも、皆様から、ご支援と温かいご声援を賜り、心より感謝申し上げます。

年に一度発行している市政レポートですが、本号では、令和7年6月定例会から令和8年3月定例会までの議会活動についてご報告いたします。

人口減少の進行、社会保障費の増加、そして物価高騰など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。その中で盛岡市においても、将来世代に大きな負担を強いることなく、持続可能な自治体運営をしていくために、公共施設の長寿化や、今後想定される大規模事業等を建設など、難しい課題が顕在化しています。

しかし、我々市民は、日々、この盛岡市で生活しています。少しでも、住んでいてよかったと思える盛岡市は、現在進行形で創っていかなくてはならない。

ただ予算が厳しいからという理由で、やりたいことをあきらめる、そんな自治体にしたくない。私は、その想いを胸にいただき、市民の皆様の声を踏まえながら、具体的な提言を行ってまいりました。

本報告が、市政への理解を深めていただく一助となれば幸いです。これからも、皆様からご指導ご鞭撻をいただき、議員活動を精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5つの公約 Promise

- 1 盛岡市民に寄り添った人口減少問題への取り組み
- 2 一年通して、誰でも住みやすい道路環境が整った街づくり
- 3 若者の地元定着の促進
- 4 地域コミュニティの維持・活性化
- 5 議会改革 市民のみなさんの声を行政にしっかり伝える

5つの公約を実現するために



中小企業振興条例を令和8年度に策定します。

これまで、人口減少対策の最も重要なことは、中小企業を元気にすることだと訴えて参りました。盛岡市において重要課題だと認識しており、今年度、事業者を後押しする効果的な条例を制定する予定です。

道路の維持補修の予算確保が必要です。

厳しい財源を理由に、近年、道路の維持補修予算は削減傾向にあります。盛岡市では事業委託により補修する予算が枯渇すると、職員が自前で補修を行っています。市民生活に一番影響を与える道路環境の維持の大切さを今後も訴えて参ります。

町内会等と盛岡市との関わりの見直しが必要です。

現在、町内会等に盛岡市から委託されている事業や、町内会等を対象にした会議の開催などの負担を軽減しようと、盛岡市役所内でも部局間が連携して事業見直しを行うとしています。

ふるさと納税制度は、自治体間の寄付金獲得競争を生み、制度の主旨に賛同しがたい部分もありますが、総務省は、制度の毎年是正を行い、地方財政の不均衡を調整しつつも、近年、全国の寄附額の実績は、およそ1兆3千億円程度、将来的には、2兆円に及ぶのではないかと言われる制度へと成長しています。盛岡市の令和7年度

Q2 積極的な財源確保策について (ふるさと納税の推進)

盛岡市自治体経営改善方針の令和8年度の方向性 ◎取組項目(5つの柱)

- 1. 事務事業の精査と見直し [いわゆる123事業]の事業見直し。123事業のうち113事業は当初案通りとなりましたが、放課後児童クラブ利用料補助金やいしがきミュージックフェスティバル負担金などの9事業は令和8年度も継続検討とされています。
- 2. 受益者負担の見直し ○令和8年度から公民館等の利用料が見直されています。○職員駐車場の有料化を検討します。
- 3. 積極的な歳入確保 ○基金の債権運用の拡大など、資金運用の見直しを検討しています。○ふるさと納税による寄附額の増収を図ります。○公共施設へのネーミングライツを更に推進します。○未利用市有地等の活用を推進します。○公用車や庁舎等への広告を拡大します。
- 4. 積大規模事業の実施時期等の見直し ○大規模事業の優先順位付けを検討します。○公共施設保有適正化を推進するため、「施設カルテ」による利用状況やコストの分析を行い、基準検討します。
- 5. 組織・定数の見直し ○業務執行状況等を把握し、より効率的な体制構築、人員の適正配置に取り組みます。○行政DXを推進し、市民の利便性向上を目指します。



また、町内会・自治会への委託事業が長年据え置かれている実態を取り上げ、地域コミュニティの持続性を踏まえた見直しの必要性や、さらに、県営住宅と市営住宅の減免制度の運用の違いを取り上げ、他都市との比較による政策の妥当性の検証を併せて行うことの必要性を踏まえ、持続可能な自治体経営への転換を求めました。

Q1 自治体経営改善方針の進め方について

盛岡市では、今後の財政運営において厳しい見通しが示され、自治体経営改善方針が策定されました。目指す将来像や全体像が不明確であること、事業見直しが見えぬ歳出削減に終始する懸念、抜本的な歳入確保策が見えない、大規模事業の見直しは時期の見直しのみでよいのかなどの点について指摘しました。

の寄附額は、約5億1,100万円。今後の推進策としては、魅力的な返礼品の開発、返礼品事業者との信頼関係構築、専門的な推進体制の整備が不可欠となっています。

先進事例では、職員が事業者と直接対話しながら商品開発を進めることで、大幅な増収を実現している自治体もあります。

私は、「机上の施策だけでは成果は出ない」という視点から、役所職員も現場に足を運び地域に根ざした取り組みと組織体制の見直しを求めました。

令和8年度、市としても財源確保を積極的に推進するため、職員を増員のほか、中間委託業者を変更し、約10億円のふるさと納税寄附額の増収を目指すこととしています。

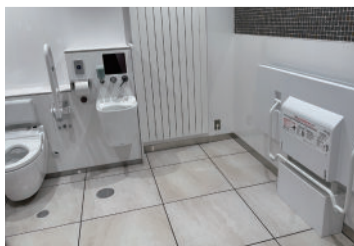
Q3 合理的配慮の推進について (共生社会の実現)

令和6年4月の障害者差別解消法の改正により、民間事業者にも合理的配慮が義務化されました。

私は、特に以下の点を中心に質問しました。重度障害者の増加に対する対応状況、バリアフリー法との連携、バリアフリー化を進める上で医療的ケア児・者が強く要望するトイレ事情の整備(ユニバーサルシートの設置推進)、民間施設への普及を進めるため事業者への理解促進について。

当事者や家族の声から、トイレ環境の整備の遅れが大きな課題であることを指摘し、公共施設からの率先整備や市内のバリアフリートイレ等の設置状況がわかるよう情報発信の改善を求めました。

また、「補助制度への依存では、社会に広まらない」という観点から、民間企業の参画を促す意識情勢の必要性を提言しました。



ユニバーサルシートは、今年度開所する山王児童センター及び山王老人福祉センターの合築建物や、盛岡城跡公園公衆トイレに設置予定です。

定例会において、質問してきた内容について



Q4 外国人の定着について

人口減少社会において、外国人材の定着は重要な政策課題です。

盛岡市でも外国人住民は増加していますが、全国の中核市の中で、前々回の国勢調査時点で外国人の人口比率が62自治体中56番と割合は低い状況にあります。国も外国人材の受



入促進のため、ビザの要件緩和や特定技能実習制度を創設して在留資格の取得を容易にする施策を進めています。結果的に外国人も東京一極集中の状況です。地方、特に現在の盛岡市での定着に向けた現場の声として、住宅確保の難しさ（保証人問題、賃金格差が大きな課題として挙げられています）。

私は、単なる受け入れではなく、地域との関係づくり、学校・企業地域コミュニティの連携、行政によるコーディネート機能の必要性を提言しました。

「盛岡が好きで住み続けたい」と思える地域愛の醸成を創る環境づくりこそが、定着の鍵であると考えています。

その他の質問 Other questions.

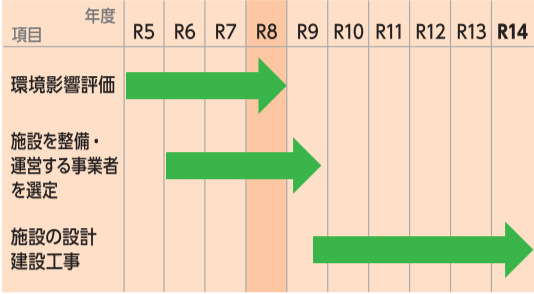
- 国への市長の要望活動の更なる強化について
- 利用者が減少している「盛岡という星でBASSESTATION」の活用対策について
- HPVワクチン接種率を向上させるための教育委員会との連携について
- 東北絆まつり開催にかかる既存商業施設との連携について
- 盛岡城跡公園下駐車のトイレ整備について
- 在宅医療と介護の連携について

広域ゴミ処理施設の建設の動向

令和8年度は、環境影響評価（評価書作成）、事業者選定（新施設整備・運営事業に係る「実施方針」の公表等）、都市計画決定手続及び用地取得を行うほか、収集運搬中継施設に係る施設整備基本計画の策定、各種調査を行う予定です。

処理施設の余熱利用等についても、地域住民との意見交換を進める予定です。

●施設設備のスケジュール



	令和8年度当初予算額 ①	令和7年度当初予算額 ②	増減率①/②
一般会計	126,510,000千円	124,280,000千円	1.8%
特別会計	58,955,886千円	58,684,977千円	0.5%
企業会計	34,454,701千円	33,691,435千円	2.3%
全会計合計	219,920,587千円	216,656,412千円	1.5%

※ 企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の予算額の合算額を記載しています。

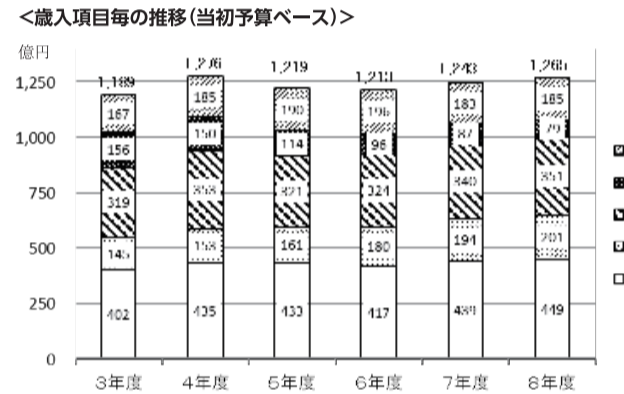
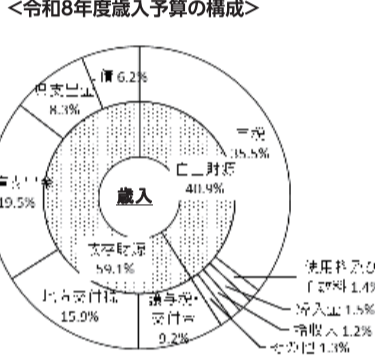
令和8年度当初予算

令和7年度同様、義務的経費と言われる、職員などの人件費、生活扶助などの各種扶助に要する扶助費、市の借入金返済に充てる公債費が増額となっていることから、全体としては、平成4年度予算に次ぐ、二番目に多い予算額となっています。

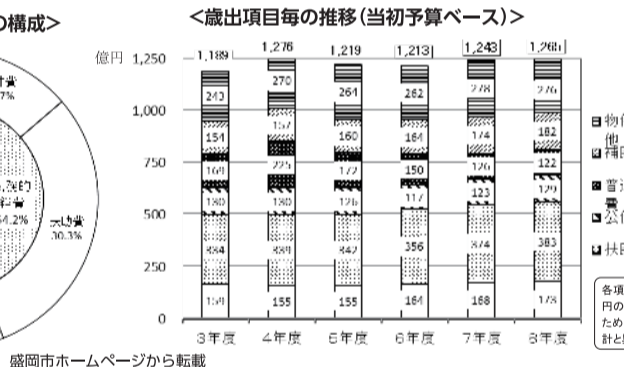
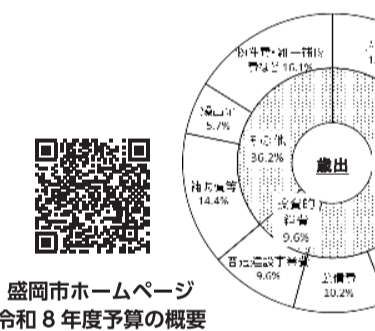
背景には、賃上げ対応や少子高齢化に伴う社会保障費の拡大、物価高による委託料・維持費の上昇などがあります。この結果、道路整備や公共施設更新などの投資的経費が抑制される構造が固定化しています。

今後の市町村は、どうしたらよいのか。やることは、さきほどの自治体経営改善方針に掲げたことになりましたが、これは、どの自治体でも考えられていて、実行しています。盛岡市も明確なビジョンのもと、スピード感を持って推し進め

<令和8年度歳入予算の構成>



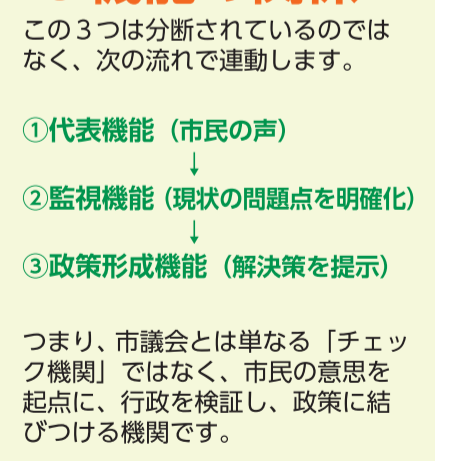
<令和8年度歳出予算の構成>



市議会の役割って？ 市議会の役割についてご説明します

- 1.代表機能 (市民の声を議会に反映する役割)**
市議会議員は選挙によって選ばれ、市民の意思を市政に届ける「代弁者」です。地域の課題や住民の意見を議会に持ち込み、質問や提案として行政に示します。例えば、
○子育て支援の充実 ○除雪体制の改善
○地域産業の振興
など、市民生活に直結するテーマを取り上げることで、「市民の意思を政策に変換する入口」となる機能です。
- 2.行政監視機能 (市長・行政のチェック)**
議会は、市長や執行部が適正に行政運営を行っているかを監視します。これは「二元代表制」の中核となる役割です。具体的には、
○予算・決算の審査
○一般質問などによる政策検証
○事業の費用対効果のチェック
○不適切な支出や非効率の是正
などを通じて、行政の暴走や無駄を防ぎます。本質：税金の使い方に対する責任確保（ガバナンス機能）
- 3.政策形成機能 (政策をつくる役割)**
議会は単なるチェック機関ではなく、自ら政策を提案・形成する役割も担います。具体例としては、
○条例の制定・改正 (議員提案条例)
○政策提言・決議
○委員会での調査研究を踏まえた施策提案
などがあります。近年は特に、人口減少対策、産業振興・企業誘致、財政健全化といった中長期課題に対して、議会において議論がなされています。本質：自治体経営の戦略づくりへの参画

3機能の関係





ちばじゅん子事務所 《千葉 順子》

〒020-0041 岩手県盛岡市境田町6-17-202
TEL 090-3823-3694 FAX 019-903-0335
Mail chibajunmorioka@gmail.com

盛岡市議会での所属党派等
所属党派：盛友会
常任委員会：教育福祉常任委員会
特別委員会：雇用対策特別委員会 (副委員長)
議会広報委員会 (委員長)

審議会委員：盛岡市上下水道事業経営審議会、盛岡市都市計画審議会
地域活動：境田町内会 副会長及び総務部長、盛岡市消防団第11分団 分団員

プロフィール

昭和43年12月 山田町生まれ
昭和62年3月 宮古高等学校卒業
昭和63年3月 東北電子計算機専門学校卒業
平成4年3月 法政大学文学部教育学科卒業
平成4年4月 東京にて航空機製造関連の東証2部上場企業に就職 社長秘書

平成7年1月 上記企業退職
平成7年4月 岩手県庁入庁
令和5年4月 岩手県庁退職 (在籍期間：28年)

県庁在籍期間担当
保健福祉部 (自殺予防対策等)
県議会事務局
教育委員会 (学校教育) 等

資格
国家資格キャリアコンサルタント
防災士
喀痰吸引等研修 終了

家族構成
夫 長男 (県外で社会人)

趣味
神社仏閣の御朱印集め 料理

皆さんのご意見をお聞かせください！

ちばじゅん子ホームページ
chibajunmorioka.com



この市政レポートは、政務活動費を活用して作成しています。